

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 骨盤位経膈分娩におけるリスクの検討

研究の目的

骨盤位経膈分娩は帝王切開と比較し、娩出の技術が必要であり近年では全国的に骨盤位経膈分娩を扱う施設は少なくなっています。当院では適応を守り、現在も骨盤位経膈分娩を行っています。実際に帝王切開と比較し周産期予後に違いがあるかどうかを検討します。

研究実施期間： 2022年 6月 10日 ～2023年 3月 31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2011年1月1日～2022年3月31日まで当院で分娩された方で、骨盤位分娩であった方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報の内、骨盤位分娩だった方のお母さんの妊娠中の情報やお子さんの出生時の情報を利用させていただきます。具体的には、骨盤位経膈分娩を行った場合と、骨盤位で帝王切開を行った場合で、分娩時、分娩後の合併症などについて統計学的手法を用いて比較を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	産科婦人科 大石舞香 0172-39-5107 oishi120@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---